

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報 告 者	貝沼 尚子	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	権利擁護部会	
日 時	令和 8 年 7 月 22 日（水） 10 時 30 分～12 時 05 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 7 名	事務局 6 名	
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ ☐ なし		
次 第	1 災害時支援について 2 障害者虐待防止法勉強会について 3 障害者差別解消法について 4 本日のまとめ、次回の検討事項の確認について 5 その他		
報告・検討 の内容	1 災害時支援について （１）「避難所でのサポートのための自己紹介シート」を基に、必要な項目について協議を行った。 ①基本情報を記載する欄を整える 住所や生年月日、連絡先（電話番号）も必要。緊急連絡先を 3 箇所記入できるようにする。 ②困りごと・配慮してほしいことを記入できるようにする 自由記載欄を設けて、本人に必要な配慮や具体的な支援方法を記載してもらう。何を書けばよいか分かるよう記入例や記載を促す表現を工夫する。 ③障害・健康に関する情報を記入する欄を整える 障害名のみでは具体的な配慮内容が伝わりにくい。具体的に書ける形式が望ましい。 かかりつけ医の情報だけでなく、家族、相談支援専門員、通所先、ヘルパー事業所など本人をよく知る支援者の氏名や連絡先を複数記載できるようにする。 感覚過敏やアレルギー、服薬に関する情報を記入できるようにする。 （２）情報量と携帯性について 避難時に持ち運べるサイズであることが重要で、財布などに入れて携帯できる形式が望ましい。 携帯しやすさと記載内容の充実とのバランスを図る。 （３）デザイン・表示方法について 防災カードであることが一目で分かるよう表紙やデザインを工夫した方がよい。 ふりがなの表記や見やすい文字サイズへの配慮が必要である。 （４）その他		

避難所生活において支援者が具体的に理解できる内容とする。

配置や書き方の工夫が必要である、情報提示する場所によって必要な情報をわけて記載する、自宅から避難所までの経路は住所記載するのであれば不要ではないか等の意見が出された。

→意見を基に見やすく記入しやすい様式へ修正し、デザインについては Canva を利用してファミリーステーション Rin で作成をすることとなった。

2 障害者虐待防止法勉強会について

アセスメントをテーマとした研修会の実施計画について事務局から説明し、事前打ち合わせの内容を踏まえ、研修の構成や当日の運営について確認を行った。

(1) 研修内容について

講義、シンポジウム（2名程度）、グループワークで実施する。

→部会からの参加枠は30名。人材育成に課題を抱える事業所に有益な内容であるため、部会員の参加も促していく。

シンポジウムでは各法人のアセスメントシートを基にした実践報告を行う。

① 各法人で使用しているアセスメントシートを活用した取組

② 定期的なアセスメントの実施状況

③ アセスメントから得られた気づきや支援の変化

→講師である第二ひまわりの倉島氏から提供されたアセスメントシートを活用し、改めて事例の整理や分析を行った結果についても共有する。

第二ひまわりで活用している「エピソードシート」の取組について紹介があった。本人理解を深め支援することを目的に、保護者の協力を得ながらエピソードを作成し、支援する。

各法人で必要なアセスメントシートが作れるようになることを目的に、グループワークでは1場面を想定し、「どのような情報があれば支援しやすいか」「翌日からの支援実践にどう活かせるか」を話し合う。

(2) 役割分担について

令和6年度から4法人と共催で勉強会を実施している。昨年度は実行委員長が開会の挨拶をしたが、共催であることを周知するためにも部会長に挨拶をしていただけると良いのではないかと意見が出された。

→部会長から勉強会当日に開会の挨拶と、権利擁護部会の関わりについて説明をさせていただく。

昨年度と同様の体制を基本に進める方向で調整することとなり、当日のタイムスケジュールの確認と役割分担を検討した。

前日の会場設営や掲示物の準備への参加について確認を行う。

→出席確認はヘルピーネットで行うこととする。

3 障害者差別解消法について

(1) 市地域福祉課から障害者週間の啓発事業の概要について説明

日時 令和8年12月6日（日）

場所 道の駅 マチテラス日進

目的 一般の方の障害者理解を深める

例年は差別解消法関連事業への参加を部会活動の一環として位置付けていたが、今年度は啓発物の展示を中心とした実施方法となる見通しである。啓発パネルや展示物の設置を予定しており、会場スペースの制約があるため当日の部会員参加は困難である。

部会としては、これまでの成果物である要配慮者の避難所生活サポートブ

	ック、お買い物サポートカード、障害者差別解消宣言パンフレットなどを展示する案が出された。また、展示物が何であるか分かりやすいようタイトルや説明表示を工夫した物を作ることとなった。 →展示期間は12/1～12/6までの6日間、展示場所は多目的室の廊下の壁と机2つ分となる。自立支援協議会を知らない人でもわかりやすいように看板等で周知を行う。 (2) 11月の部会開催について 当初は差別解消法関連事業への参加を部会開催1回分として計画していたが、今年度は展示形式となるため、11月に改めて部会を開催し、啓発展示の内容確認や今後の取組について協議を行うことになった。 →開催候補日の調整についてヘルピーネットやメールで行っていく。 4 本日のまとめ、次回の検討事項の確認について 災害時に利用できるツール作成について、作成した資料を基に必要な項目について意見交換を行った。意見を反映し事務局で修正を進めていく。 障害者虐待防止勉強会は計画どおり実施する。 差別解消法に関する啓発活動は展示形式で実施する。11月の部会で差別解消法の啓発活動についての協議および12月の全体会に向けて今年度の振り返りと報告内容の確認を行う。 5 その他 部会員から、ひきこもりや不登校、複合的な課題を抱える家庭への支援に関する事業について情報提供とチラシ配布があり、周知協力の依頼があった。 市防災安全課から、「福祉避難所に関して、協定内容について精査していきたい。」旨、報告があったと市地域福祉課から共有があった。
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和8年9月19日(土) 8時50分～12時40分
次回会場	にしんマスプロ市民会館 小ホール

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

令和8年度 権利擁護部会員名簿

番号	選任内容	氏名	所属等	備考
1	権利擁護支援センター	下山 貴弘	NPO 法人尾張東部権利擁護支援センター	
2	施設入所・短期入所・生活介護	安江 真吾	社会福祉法人名東福祉会 レジデンス日進	欠席
3	生活介護	森田 沙弥香	社会福祉法人きまもり会 愛歩	
4	就労継続支援B型事業所・ 共同生活援助・生活介護・ 放課後等デイサービス	鈴木 香織	社会福祉法人ボレボレ 生活介護ハーモニー	
5	生活介護	高木 祥行	NPO法人小桜 生活介護友優	欠席
6	共同生活援助	奥田 洋子	社会福祉法人観寿々会 ホームペガサス	
7	NPO法人 居住支援事業	磯畑 香苗	NPO 法人ファミリーステーションRin	
8	障害のある当事者	鈴木 重行		
9	社会福祉協議会	福田 有輝	社会福祉法人日進市社会福祉協議会	
10	事務局	片岡 麻里	日進市福祉部地域福祉課	
11	事務局	八木 柚月	日進市福祉部地域福祉課	
12	事務局	宇佐美 香津美	日進地域生活支援センター	
13	事務局	宮川 みどり	日進地域生活支援センター	
14	事務局	桂川 斐斗美	日進市子ども発達支援センター	
15	事務局	貝沼 尚子	日進市地域生活支援センター	